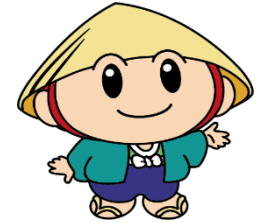


教職員向け研修(令和4年8月24日開催)



①対象

市内中学校1校の教職員 41名

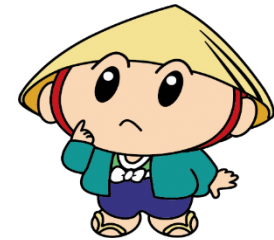
②方法

- 会場は中学校の職員室とし、教職員が集まる既存の会議がある日に設定
- 講師は、精神保健福祉センター職員、草津保健所職員、健康増進課職員
- 講義とロールプレイ形式による演習

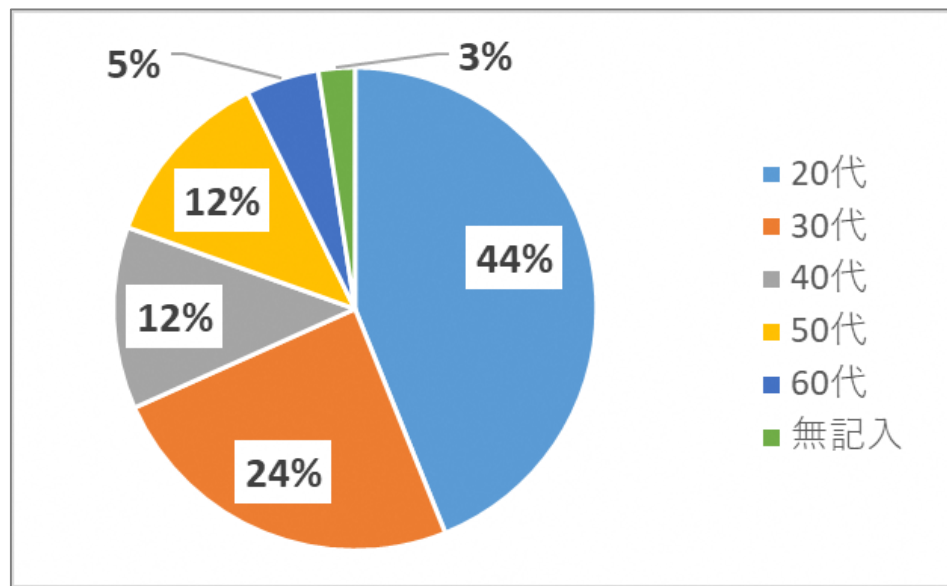
③内容

- 滋賀県・湖南圏域の自殺の現状や自殺対策について
- 思春期の子ども・若者への関りについて
- 草津市の自殺対策の取組、関係機関との連携について

研修アンケート結果①

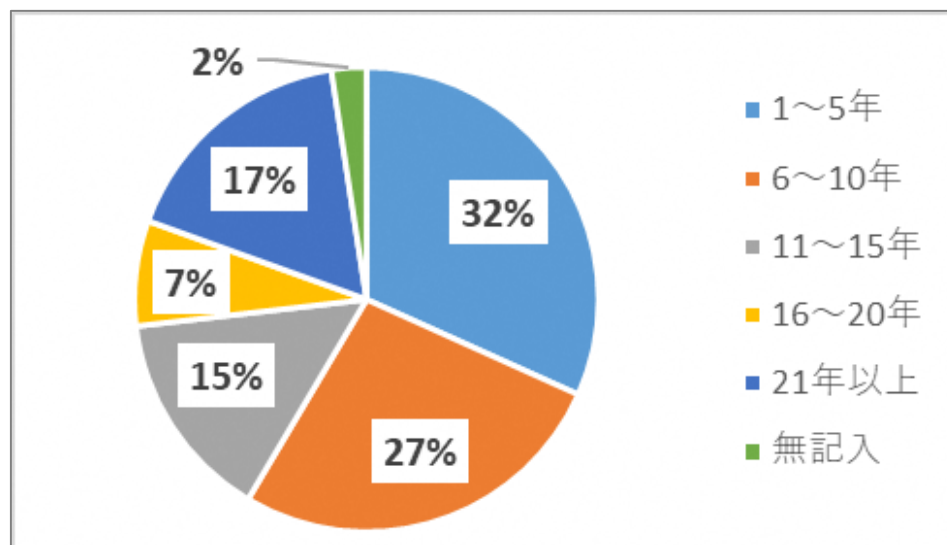


①年齢



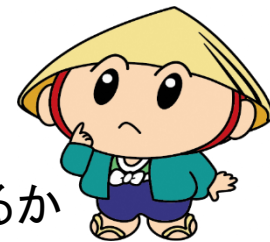
20代と30代が
全体の約7割を
占めている

②経験年数

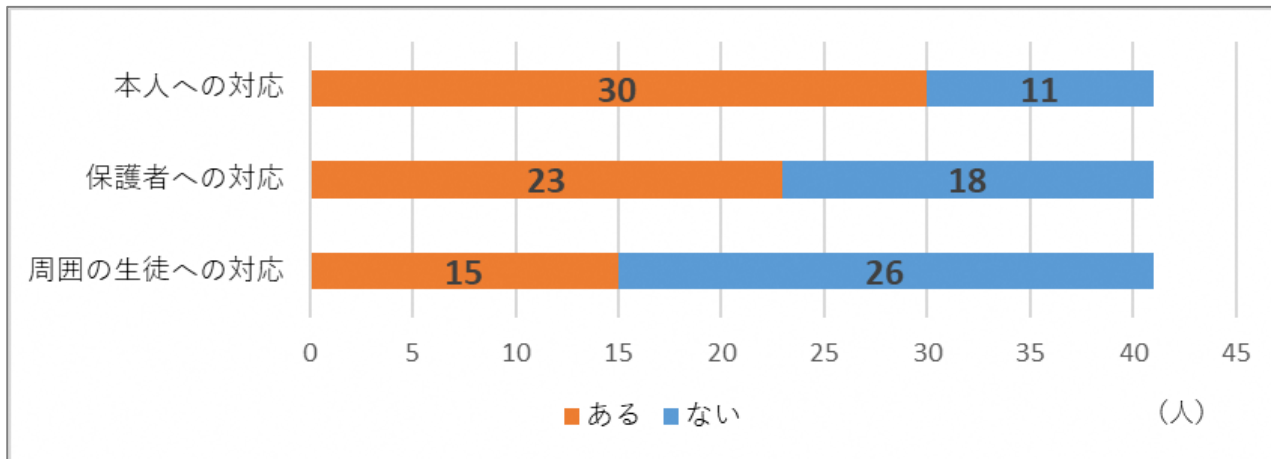


経験年数10年
以内が全体の
約6割を占めて
いる

研修アンケート結果②



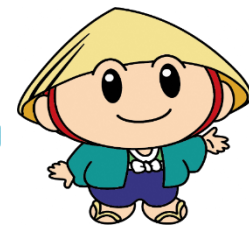
③自殺未遂や自傷行為についての対応で困ったことや不安に思ったことがあるか



困ったこと・不安に思った内容

- “自傷行為をしている場面に遭遇したとき”や“生徒から自傷行為や死にたい気持ち打ち明けられたとき”、“保護者や他の教職員には話さないでと言われたとき”の声かけや対応
- 保護者に自傷行為や生徒のしんどさをどのように伝えたらよいか
- 保護者の受け取りが軽く、理解や協力が得られなかったときに困った
- 自傷行為を見た生徒や打ち明けられた生徒にどのように声をかけたらよいか
- 自傷行為やしんどい思いが周囲の生徒に連鎖しないか不安

研修アンケート結果③



研修を受けてのその他の感想

- ひとりひとりの生徒たちに合った関わり方でしんどさや不安を減らしていきたい
- ロールプレイを見て、もし自分が同じ立場なら、、、とより具体的にイメージすることができて良かった
- 本人、保護者、周囲の生徒、誰に対してでも、まずは寄り添う姿勢を大切にしたい
- 子どもたちの現状を知ることの大切さを改めて実感したので、また、明日から子どもと精一杯向き合っていきたい

今後

学校で取組まれているSOSの出し方教育等とあわせて……

- 周囲の大人の支援力を伸ばし強化するための教職員向け研修を他校にも広めていく
- 学校とその他の関係機関が連携できるような体制を整えていく

支援者の
後方支援

支援者の
ネットワークづくり